

検討の必要性

- 近年、社会構造やライフスタイルの変化等により、子どもを取り巻く状況が大きく変化している。
 - ・社会的養護を必要とする子どもの増加
 - ・虐待等、子どもの抱える背景の多様化・複雑化



- 現行の社会的養護に関する体制は、こういった状況の変化に十分対応できる質・量を備えているとは言い難い。



- 社会的養護に関する体制の抜本的な見直しと本格的な社会的資源の投入が求められている。